

3月2日：ベトナム株は再び利益確定が優勢に

木曜日にベトナム株は下落した。投資家は昨日の上昇から利益確定に転じた。また、流動性が下落、外国人投資家も売り越しを続けていた。

ホーチミン取引所のVN指数は2.94ポイント（0.28%）安の1,037.61ポイントで取引を終えた。水曜日には1.55%ほど上昇していた。

幅広い銘柄に売りが広がったが流動性は低下している。ホーチミン市場の売買代金は6.36兆ドンで前日比で10%ほど下落した。

指数の下落は弱気心理と利益確定によってもたらされた。

VN30指数は5.7ポイント（0.55%）安の1,028.73ポイントで取引を終えた。VN30指数採用銘柄では、20銘柄が下落し、9銘柄は上昇していた。

サイゴンビール（SAB）、ベティンバンク（CTG）、マサングループ（MSN）、ホアファットグループ（HPG）、ビンコムリテール（VRE）といった5銘柄が最も下落した。それらの銘柄は1.44-2.24%下落した。

一方、下落トレンドに逆行した銘柄として、BIDV（BID）は1.64%高となっていた。

ハノイ取引所のHNX指数は木曜日に下落をした。同指数は0.69ポイント（0.33%）安の206.14ポイントで取引を終えた。

出来高は4,010万株で売買代金は5,950億ドンだった。

外国人投資家はベトナム市場から流出しており、ホーチミン市場で1201億ドンを売り越していた。

2月はVN指数が7.8%安、HNX指数が9%安となっていた。

流動性も低水準となっており、前月比で出来高で2.14%減、売買代金では4.6%減となっている。

外国人投資家は5,718億ドンを2月に売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。